富山県立中央病院
やさしさ・信頼・安心

地域連携室だより

令和5年1月号
No.247

〒930-8550　富山市西長江2-2-78 | TEL　076 (424) 1531 | https://www.tch.pref.toyama.jp/

初春の候、皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

新型コロナウイルスの感染拡大防止にご協力いただき感謝致します。

今月の掲載は、耳鼻いんこう科、感染症内科、NST（栄養サポートチーム）です。

新年室長挨拶

地域連携室長
丸山　美知郎

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、当院の地域医療連携にご支援、ご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2022年11月にカタールでサッカー・ワールカップが通常開催されました。夜遅くテレビの前で日本の奮闘に胸を熱くした方も多かったのではないでしょうか。2022年も新型コロナウイルスに日々対応する状況でしたが、ワールドカップでは大勢の観客がマスクなしで応援している姿を見て、海外では新型コロナウイルスとの付き合いかたも変わりつつあると感じました。皆さまの日常生活、医療がコロナ前に一刻も早く戻ることを切に願います。

先日、厚生労働省は、かかりつけ医の役割について法律に明記する方向で調整に入ったと報道されました。かかりつけ医の機能が国民に伝わりやすくする仕組みも設けられるようであり、なお一層、地域医療連携が重視されると思われます。

地域連携室では、これまで以上に地域医療機関の皆さまと本院との連携に貢献できるようにスタッフ一丸となって取り組んでまいる所存です。

本年もご指導、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

診療科の紹介　耳鼻いんこう科

耳鼻いんこう科　スタッフ
後列左から：浦本部長、石川医長
前列左から：里見医師、吉川副医長

外来受診表

	月	火	水	木	金
浦本	○（初診）	○（初診）	○→手術	○（AM11時～）	○
石川	○	○（初診）	○（初診）	○	○
吉川	○	○	○（初診）	○（初診）	○（初診）
里見	○	○	○	○（初診）	○（初診）

◆診療体制

富山県立中央病院の耳鼻いんこう科は、2022年の3月をもちまして高相裕司、稲場真生が退職しました。4月から吉川智美、里見佳保が新たに赴任しました。

2022年4月より、浦本直紀部長、石川和也医長吉川智美副医長、里見佳保医師の4人で診療を担当しております。

各医師の午前中の外来担当は表のとおりです。

4月から常勤医2名の変更があったため外来におきましては患者さんを、長くお待たせしてご迷惑をおかけしていることも多々あるかとおもわれます。ご紹介のさいには患者さんによろしくお伝えくださいますようお願いいたします。

◆当科における甲状腺手術の導入について

従来当院では甲状腺手術は呼吸器外科にて施行してきましたが、全国的に甲状腺手術は耳鼻いんこう科医が施行する施設が増えてきており、当院においても2022年4月より耳鼻いんこう科にて施行していくこととなりました。当科でも喉頭癌における喉頭全摘術施行時には、甲状腺葉切除または甲状腺全摘出術を併せて施行してきていましたし、当院耳鼻いんこう科スタッフも金沢大学附属病院耳鼻咽喉科含め、当院以外での関連病院では甲状腺手術を施行してきてまいりましたので手術手技的には特に問題なく当科での手術へと移行できるものと考えております。しかし、何分当科では初めてのことでありしばらくの間は、地域の先生方、患者さんにはご迷惑をおかけすることがあるかとおもわれますが何卒ご容赦のほどおねがいいたします。

2022年4月から10月までの間に当科で施行した甲状腺、副甲状腺の手術は33例でありました。年齢は22才から82才の間であり、男性9例、女性24例でした。術式は喉頭全摘+頸部郭清1例、甲状腺全摘+頸部郭清7例、甲状腺片葉切除+頸部郭清6例、甲状腺全摘8例、甲状腺片葉切除9例、副甲状腺腫瘍摘出2例でした。術後の病理結果は乳頭癌13例、濾胞癌1例、バセドウ病7例、腺腫様結節6例、慢性甲状腺炎2例、濾胞腺腫1例、アミオダクロン誘発甲状腺異常1例、副甲状腺腫2例でした。術前より反回神経麻痺をみとめた症例は2例ありましたが、その他の症例は手術後に新たに反回神経麻痺をみとめた症例はありませんでした。また術後出血による、再手術は現在のところありません。

◆症例

症例は70才台男性。嗄声、嚥下困難を主訴に前医受診。左声帯麻痺ともなう左甲状腺腫瘍、頸部リンパ節腫脹みとめ当科紹介。

CT施行すると気管浸潤、食道浸潤疑われる甲状腺左葉の腫瘍、左鎖骨下リンパ節転移疑い、縦隔

リンパ節転移疑い、肺転移疑い、誤嚥性肺炎像をみとめました。

当院内分泌・代謝内科コンサルトし甲状腺腫瘍とリンパ節をエコー下針生検施行していただいたところいずれも乳頭癌の結果でありました。

気管や食道を温存しての原発巣完全切除は困難であり、多発肺転移もみとめる症例でしたが、局所の腫瘍増大による病態の悪化の改善目的に手術（甲状腺全摘+頸部郭清術+縦隔リンパ節摘出術）を施行いたしました。術中当科では対処できない事態（縦隔からの出血や食道穿孔など）想定し、術前に当院呼吸器外科と消化器外科に術中スタンバイしていただくことといたしました。手術は、幸い気管や食道を穿孔することなく腫瘍を摘出できリンパ節郭清も大きなトラブルなく終了できました。術後は、残存腫瘍に対しての放射線ヨウ素治療やレンバチニブ治療も検討いたしましたが、御本人、御家族と相談のうえ術後治療は施行せず慎重に経過観察していくことといたしました。このように手術困難とおもわれる症例でも、内分泌内科、呼吸器外科、消化器外科、核医学科の先生方の協力を得ながら今後も当科で手術をすすめていきたいと考えております。地域の先生方には是非ご紹介いただければ幸いかと存じますが、腫瘍の細胞診による診断のついていない症例はまずは当院内分泌内科へご紹介いただきたく存じます。当院内分泌内科で細胞診を施行した後、当科に受診していただくほうが手術までの流れがスムーズになるとおもわれます。

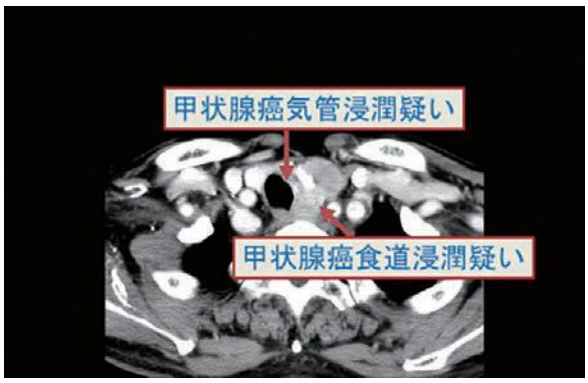
以上当院耳鼻いんこう科における診療の一部をご紹介させていただきました。

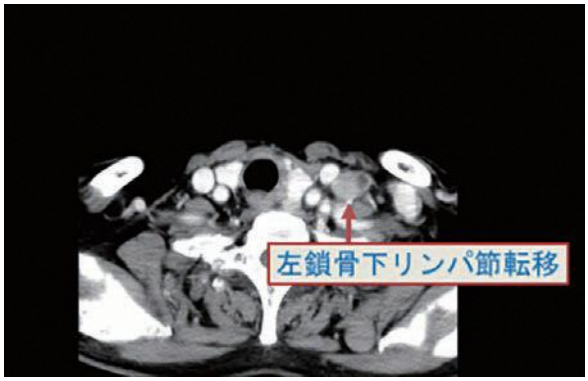
いつも多くの貴重な症例をご紹介いただきありがとうございます。

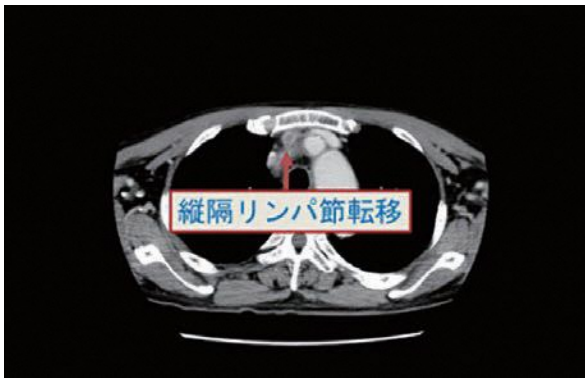
地域の先生方との病診連携はますます重要と考えております。

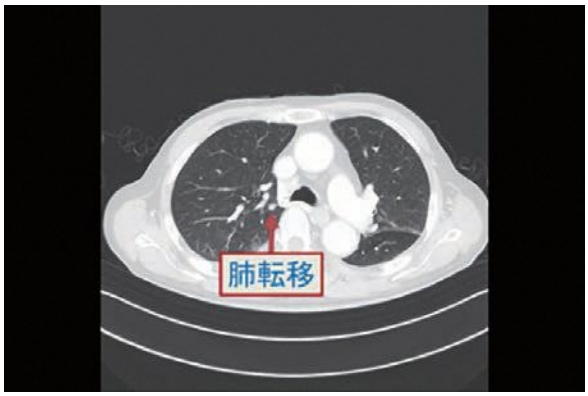
今後ともよろしくお願い申し上げます。

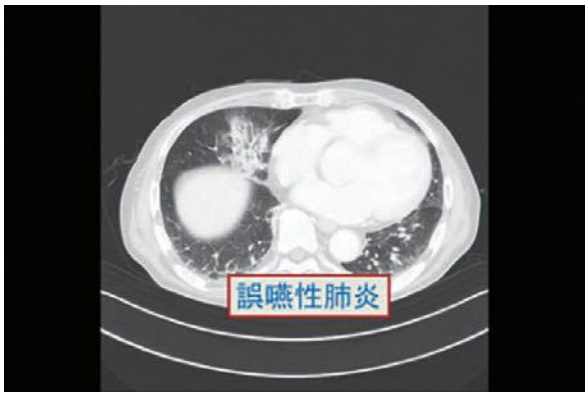
（文責　浦本直紀）











感染症内科のご案内

専門領域と治療内容の特徴

COVID-19の流行下においては、主にHIVの患者さんや院内外からの職員の針刺し事故の対応、抗菌薬の相談などの対応を行っています。HIVの患者さんは現在45名が通院中です。エイズを発症した人も日和見疾患の治療や抗ウイルス薬の投与により改善し、元気に外来通院しています。COVID-19に対しては特殊感染症チームSIT（COVID）が対応しており、入院患者の受け持ちを担当します。オミクロン株になってからは、コロナの肺炎の合併はほとんど無く、誤嚥性肺炎などの合併症の治療で入院する例が多くなっています。抗菌薬適正使用支援チームでは、広域の抗菌薬を長期にわたり使用している患者のチェックを電子カルテ上行い、使用中止や変更について提案をしています。感染対策チームのラウンドでは病院内のすべての部署を回り、正しい感染対策が行われているか、手指消毒が正しく行われているかなどのチェックを行っています。

医師紹介

経験豊富なスタッフが万全な体制で治療をサポート

部長

彼谷（かや）　裕康（ひろやす）

【患者さんに一言】
・笑顔で診察します

【得意分野】
・COVID-19、HIV、輸入感染症

【資格】
日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本血液学会専門医・指導医、日本感染症学会専門医・指導医、日本エイズ学会指導医、日本輸血学会認定医

外来診療担当表

	月	火	水	木	金
初診	彼　谷			彼　谷	
再診	彼　谷			彼　谷	
救急					

NST（Neutrition Support Team）/ 栄養サポートチームの紹介

私たちNSTでは、毎週木曜日に医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、言語聴覚士など多職種で栄養管理に難渋している症例に対して、適切なアセスメントを行い、患者さんに合わせた栄養介入を提案しています。

ここでNSTが介入し、患者さんの回復を実感した症例を提示します。患者さんは急性期治療のため、全身状態が不安定な時期が続き、積極的な栄養管理ができず、低栄養が進行した状態でした。全身状態が安定し、運動・呼吸リハビリを開始していましたが、背景に低栄養があり、呼吸状態が安定せず、血液ガスデータでも二酸化炭素貯留がなかなか改善しない状態であり、呼吸ケアチームより呼吸器離脱が困難な可能性があることを示唆されていました。そこでNSTに介入依頼があり、栄養面からのサポートを行いました。呼吸商を考慮した栄養剤や投与量の見直しの提案を行いました。主治医の許可を得て投与したことで、当院入院中に呼吸器離脱まで状態が改善することができ、さらにリハビリ強化のための転院に到達することができました。栄養だけのサポートで全てが解決したわけではありませんが、適切な栄養内容の投与とリハビリの継続を行うことが、より大きな治療効果と患者さんのQOLの向上ができると実感した症例でした。

カンファレンス風景

院内ラウンド様子

当院は急性期病院であり、介入する患者さんは病気が重症で、全身状態が不安定なため、治療が優先となり、状態が落ち着いた時点では低栄養が進行していることがあります。また、高齢者が多く、入院前から低栄養状態の患者さんも少なくはありません。栄養スクリーニングシートを用いて、栄養介入が必要な患者さんを抽出し、速やかに対応できるようにしています。

当院NSTは、患者さんが少しでもADL、QOLの向上に繋がるよう、日々、多職種で栄養管理をサポートするよう活動を行っています。

お知らせ

1 連携談話会・症例検討会のご案内

2月開催予定

★第164回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年2月2日（木） 17時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年2月9日（木） 19時から
場 所：富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年2月13日（月） 19時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和5年2月16日（木） 19時から
場 所：富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和5年2月24日（金） 17時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール
講 義：「糖尿病性神経障害の病態」
問題演習：「糖尿病と脂質管理に必要な知識」
療養指導の実際：「インスリンポンプ療法の指導の実際」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年2月 7、14、21、28日(火) 16時30分から
場 所：富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

3月開催予定

★第165回 富山県立中央病院消化器キャンサーボード
日 時：令和5年3月2日（木） 17時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール

富山県皮膚科病診連携症例検討会（二木会）
日 時：令和5年3月9日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟B 1階会議室

★中央病院病診連携談話会
日 時：令和5年3月13日（月）19時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール

★第76回 歯科口腔外科病診連携症例検討会
日 時：令和5年3月15日（水） 19時から
場 所：富山県立中央病院中央診療棟3階 35会議室

胸部レントゲンカンファレンス
日 時：令和5年3月16日（木）19時から
場 所：富山県立中央病院中央病棟B 1階会議室

★第121回 漢方症例検討会
日 時：令和5年3月17日（金）19時から
場 所：富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★糖尿病療養指導のための講習会
日 時：令和5年3月24日（金）17時から
場 所：富山県立中央病院 5階ホール
講 義：「周術期血糖管理の実際」
問題演習：「低血糖を予防する服薬指導」
療養指導の実際：「高齢者糖尿病患者への支援」

呼吸器キャンサーボード
日 時：令和5年 3月 7、14、28日(火) 16時30分から
場 所：富山県立中央病院 中央病棟B 1階会議室

★…医療機関スタッフの方々の公開学習の場としています。お気軽にご参加ください。

換気、手指消毒、ソーシャルディスタンス確保、
環境整備を徹底して実施いたします。

2 2月の外来診療に関する医師不在日

科名	医師名	不在日
循環器内科	丸山医師	24日(金)
消化器内科	松田（充）医師	16日(木)
呼吸器外科	川向医師	17日(金)
小児科	藤田医師	21日(火)
整形外科	笹川医師	1日(水)
	香川医師	17日(金)
	山本医師	3日(金)
形成外科	池田医師	1日(水)
脳神経外科	青木医師	24日(金)
産婦人科	谷村医師	17日(金)
泌尿器科	武澤医師	27日(月)
眼科	山田医師	1日(水)、3日(金)、8日(水)、15日(水)、17日(金)、22日(水)、24日(金)
	西野医師	8日(水)～10日(金)
耳鼻いんこう科	石川医師	24日(金)
歯科口腔外科	小島歯科医師	13日(月)、24日(金)
	倉部歯科医師	3日(金)、24日(金)
放射線診断科	阿保医師	17日(金)

3 地域連携室からのお知らせ

令和5年2月より「とやまPET画像診断センター」のPET/CT装置が新しくなります。

当院は「とやまPET画像診断センター」と連携しながら、がんの診療をしております。新しいPET/CT検査の診断での精度が向上し、患者さんの治療方針に役立てることができますので、是非当院へご紹介いただきますようお願いいたします。

4 受診にあたってのお願い

日頃より、地域連携室業務に多大なるご協力をいただき感謝申し上げます。時折、予約なく診療情報提供書をお持ちになって来院され、当日の受付枠がいっぱいで、後日の予約を取ってお帰り頂く場合があります。ご面倒でも、受診前に地域連携室にお電話いただき予約をお願いします。その際には診療情報提供書を事前に FAX いただきますと診療までの待ち時間の短縮にもつながりますので、ご理解とご協力を賜りたく存じます。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

令和5年を迎え、地域の先生方およびコメディカルの方々には、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

数年ぶりに行動制限のない年末年始ではありましたが、外には出ず自宅でぬくぬく過ごしておりました。皆様はどのように過ごされましたでしょうか？

新湊漁港より撮影

「年賀状じまい」をされる方も増えて、届く年賀状の枚数も年々減っているようです。子供が小さいころは写真などを入れて同級生や親戚に成長の報告をしていましたが、最近では健康に関する内容やペットの関する内容が多くなりました。文字を書く機会も減っているので、もうしばらく年賀状は続けてみようと思っています。

（地域連携室看護師 福澤広美）

「地域連携室だより」の送付を希望されない場合は
下記までご連絡下さい。

富山県立中央病院
地域連携室
○代表電話 076（424）1531／内線3177
○予約専用 076（491）7160
○FAX 076（491）7109

がん診療に関する相談支援センター
ホームページアドレス https://www.tch.pref.toyama.jp/
地域連携室（医療機関向け）電話076－424－1531／内線3177
メールアドレス chiikirenkei@pref.toyama.lg.jp
医療相談室（患者・ご家族向け）電話076－424－1531／内線9130・9307
メールアドレス kango@pref.toyama.lg.jp